

2017(平成29)年度山形県支部活動報告

月 日	行 事	主な活動内容
4 月 23 日 (日)	支部幹事会①	<ul style="list-style-type: none">・平成 29 年度の幹事会活動計画について・平成 28 年度会計報告について・支部総会、父母懇談会について
6 月 3 日 (土) <山形テルサ>	支部総会 父母懇談会	<ul style="list-style-type: none">・52 家族が参加し、総会、講演に続いて保護者と教員の個人懇談が行われた。大学での様子、進路などが話し合われた。
7 月 29 日 (土)	支部幹事会②	<ul style="list-style-type: none">・支部総会、父母懇談会の報告について・大学見学会及び地区別懇談会について
10 月 14 日 (土)	大学見学会 工大祭参加	<ul style="list-style-type: none">・八木山キャンパスで開催の第 42 回工大祭を見学。・県内各地から 12 家族 37 名、支部役員 2 名が参加。
11 月 25 日 (土)	地区別懇談会	<ul style="list-style-type: none">・置賜地区の地区別懇談会を上杉博物館にて実施。6 家庭が参加。
11 月 25 日 (土)	支部幹事会③	<ul style="list-style-type: none">・秋の理事会概要報告について・平成 30 年度活動計画について
1 月 30 日 (火)	支部会報発行	<ul style="list-style-type: none">・山形県支部会報『最上川 22 号』発行



重要文化財：旧鶴岡警察署庁舎（致道博物館内）
創設当初の水色に戻った

父母懇談会



第42回工大祭(大学見学会)



多くの皆さまにご参加いただきました。

第2回100円朝食キャンペーン

和定食



洋定食
(長町キャンパス)



洋定食



カレーライス



1月10日~1月23日

鶴岡市の今

後援会山形支部 幹事 佐々木 稔

鶴岡市は庄内平野にあり 1200 年前は内海でした。北海道の平原を見て感動しないのは庄内人だけだという話が出るぐらい広々とした田んぼがあります。「秋、黄金一色に染まった田んぼのど真ん中を自転車でツーリングするのはとても気持ちがいい。空気が美味しい」と東京出身の方が話をしてくれました。

庄内は出羽三山に囲まれている為、台風の強風も弱まり、速足で駆け抜けます。自然災害がとにかくすくない所でもあります。「出羽三山のおかげで有難での一」と市民は言っています。またその一方、出羽三山があるため、県庁所在地がある山形市へは高速道路も月山で一端途切れ、電車で行くには2回乗り換え2時間37分もかかる不便な所でもあります。

鶴岡市は人口 126,499 人（平成 29 年 10 月 1 日現在）で山形市に次ぐ大きさです。鶴岡市も全国共通の悩みである少子高齢化が進んでいます。空き家、空き店舗が目立ち鶴岡市全域で空き家が約 2,800 戸（平成 28 年度）あります。

ここでは、鶴岡を盛り上げようと近年力を入れて取り組んでいる観光の一部を紹介しします。文化庁より平成 28 年日本遺産に認定された出羽三山「生まれ変わりの旅」は、1400 年以上にわたり修験の地として信仰を集めています。羽黒山は現生の幸せ（現生の利益を叶える）を祈る山（現在）、月山は死後の安楽と往生を祈る山（過去）、湯殿山は生まれ変わりを祈る山（未来）、赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表しています。また、他にも月山神社（山頂）、湯殿山は注連寺七五三掛桜、大日坊の皇壇スギ（高さ 27m の老木でパワースポットとしても知られ圧倒されるパワーを感じます）六十里越街道、湯殿山神社（東日本に大きい分所で 6 所あります）が日本遺産に認定されており、2017 年には「サムライゆかりのシルク」が新たに認定されました。鶴岡は今も養蚕から絹織物まで一貫工程が残る日本唯一の地です。

また、鶴岡市は日本で唯一、2014 年にユネスコ食文化創造都市ネットワーク（食文化部門）への加盟が認められ、ユネスコ食文化創造都市として認定されました。庄内は山、里、海の四季折々の食材に恵まれ、だだちゃ豆、温海かぶなど由来作物が 50 種以上存在し一年を通して旬の味を活かした郷土料理や食文化を楽しむ事が出来ます。

大山にある上池、下池はラムサール条約（正式名称：特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録されています。観光では致道館、加茂水族館、藤沢周平記念館、善宝寺などがあり温泉街も多くあります。

慶應義塾大学が 2001 年 4 月鶴岡市に鶴岡タウンキャンパス (TTCK) を設置しました。その中核を成しているのがバイオ研究所 I A B（先端生命科学研究所）です。I T を駆使した「総合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパイオニアであります。I A B から生まれたベンチャー企業は、①ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社（アルツハイマー病での共同研究、疾患診断バイオマーカー開発）、②S p i b e r 株式会社（クモ糸繊維の開発、実用化（安価）へ向け研究開発）、③株式会社サリバテック（唾液を用いた疾患の早期発見の技術を実用化）、④株式会社メタジェン（検便でがん、うつ、花粉症などを予防できる「便」解析システムの開発）など医療分野での取り組み実用化へ向け研究が進んでおり、生産工場が地元に来る事を期待したいと思います。

昨年 9 月、日本海沿岸東北自動車道（日沿道）が朝日（新潟県）⇄温海（鶴岡）で着工しました。3～4 年後に開通する予定です。東京、大阪が高速道路で繋がり観光誘致、経済効果が期待できます。

今、城下町鶴岡市と湊町酒田市が手をつなぎ庄内を盛り上げようと機運が高まっています。若者が戻り活発な庄内になる事を期待します。

寄稿 「最上川」に寄せて

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科長(教授) 小山 祐司(山形市出身)

安全安心生活デザイン学科に勤務しております小山と申します。

6年ぶり2回目の寄稿となります。後援会山形支部の皆様、宜しくお願ひいたします。

私の専門は、建築や城郭や城下町などの歴史(例えば、文化財の社寺、古民家、仙台城御殿建築や在郷城下町の復元など)を中心とした研究です。山形県内では、庄内や村山地方の古民家や集落の調査研究、文化財建築の復原修復工事などに関わっております。近年は、縁あって米沢城本丸の御殿建築の復原的研究に学生と一緒に取り組んでおります。

私の所属している学科は、従前は、工学部にありましたデザイン工学科が当学科とクリエイティブデザイン学科に発展的に分離し、新たな分野の教員を招き入れ拡充を図って新設されました。10年目を迎えております。インテリアデザイン、住宅設計などのすまいの分野と、地域産業計画、社会福祉くらしの分野と両分野に共通する防災・景観・公民自治などを学ぶ学科であります。

これらを学んだ4年生は、就職活動も大凡終了し、内定した会社の研修そして、卒業研究や卒業制作に取り組んでいるところです。就職先として、建設業界、福祉業界、製造業界のいずれにも強く、100%に近い就職率です。

今般の、就職活動状況は、極めて良好であります。企業は良い人材を確保することに積極的であり、準備を怠っている学生には興味を示していません。しかし、逆に、きちんと準備をして、就職活動に臨む学生は、早々に内定を得ています。

この3月から、いよいよ3年生が、就職活動を開始することになります。現在すでに様々な就職対策支援を行っており、3月初旬には、3年次学生対象の東北工業大学主催の合同企業説明会(約270社参加)を開催します。更に、春休み以降も、継続的に就職支援事業を計画して学生諸君の就職活動をバックアップして行きます。併せて、ご父母の皆様には、ご子息御令嬢の就職活動を出来るだけご支援頂きますようお願い申し上げます。

平成30年度 後援会支部総会・父母懇談会の日程

1. 期 日 平成30年6月2日(土)
2. 場 所 山形テルサ(山形市双葉町1-2-3)
3. 内 容 ①山形県支部総会 ②大学挨拶 ③講演 ④個人面談
4. その他 詳しくは、4月下旬発行の「後援会だより」をご覧ください。
多くの皆様のご出席をお待ちしております。

東北工業大学後援会山形県支部役員名簿(平成29年度)

◎支 部 長	川崎 修(川西町)	
○事務局長	斎藤 俊一(山形市)	
○幹 事	酒井原敬士(山形市)	三澤 桂一(山形市)
	須貝 英幸(最上町)	田中 清治(最上町)
	佐藤 和弘(鶴岡市)	佐々木 稔(鶴岡市)